

口唇のヒアルロン酸注入の際に起こった動脈塞栓の症例とヒアルロン酸の動脈塞栓の際の対処法

西尾 謙三郎

Kenzaburo Nishio

もとび美容外科クリニック

口唇のヒアルロン酸は口角が上がったように見せたり、唇をボリュームアップして若々しく見せるプチ整形として広く行われています。

ヒアルロン酸の動脈塞栓のリスク部位で有名なのは眉間や、ほうれい線、鼻などですが、実は唇もリスク部位の一つです。

口唇動脈は粘膜下、眼輪筋上を走行しており、ヒアルロン酸を深く注入すると動脈に誤注入される可能性があります。

当院にて唇のヒアルロン酸を行って動脈塞栓症状が出た症例について注入状況や経過を供覧いたします。

口唇動脈の走行、注入の際の注意点などについても考察します。

また、最後にヒアルロン酸の動脈塞栓が疑われた際の対処法についてまとめます。

今回の発表をきっかけに私自身の対処法を再考するだけでなく個々の先生方が動脈塞栓の対応を再確認していただき、今後、注入時に動脈塞栓の症状がみられた際には少しでもスムーズに対処できるようになっていただければ幸いです。